

経済産業省説明資料

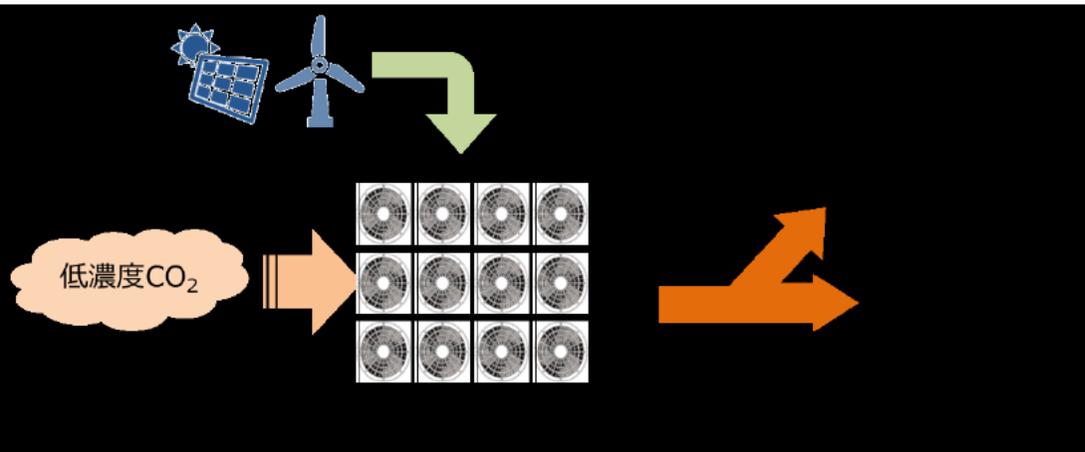
令和3年5月12日

経済産業省

2050年カーボン・ニュートラルを実現する技術の実証

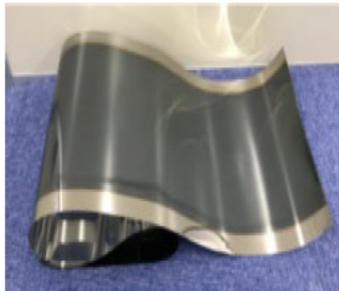
- 大阪・関西万博に合わせて、CO2を回収する技術の実証、水素やアンモニアの発電技術の実証、次世代型太陽電池やCO2吸収型コンクリートのデモンストレーション等を行い、カーボン・ニュートラルの実現に向けた日本の技術を世界にPRしていく。※一部実証等にグリーンイノベーション基金を活用することも検討。

CO2の分離・回収技術の実証



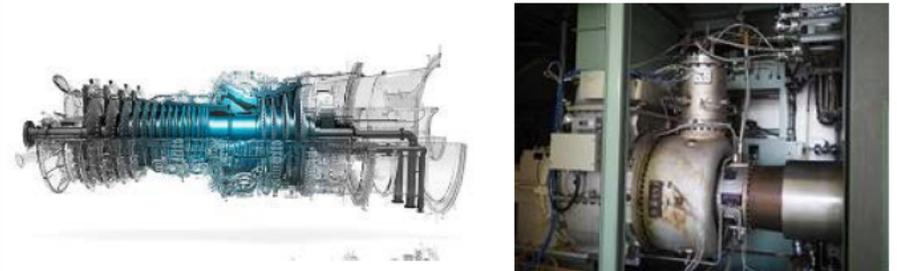
関連予算：令和元年度補正予算200億円の内数（ムーンショット型研究開発基金）

次世代型太陽電池のデモンストレーション



関連予算：令和3年度当初予算額33億円の内数

水素やアンモニアの発電技術の実証



関連予算：令和3年度当初予算額47.5億円の内数（水素発電）
令和3年度当初予算額161.5億円の内数（アンモニア発電）

CO2吸収型コンクリートの実証



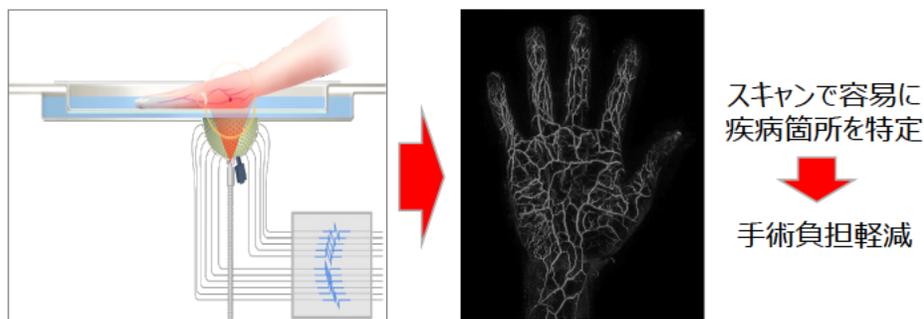
関連予算：令和3年度当初予算額161.5億円の内数

人生100年時代を健やかに生きるための技術の体験

- 最新の医療機器、多様な福祉用具に触れる機会を提供。
- 将来ではなく、今からでも利用したい魅力的な機器を会場で体験してもらう。

＜医療機器・福祉用具の展示・体験＞

① 治療の負担を小さくする最新の医療機器 (高度な画像診断により治療箇所を特定)



スキャンで容易に
疾病箇所を特定
↓
手術負担軽減

先進的医療機器開発事業
4.8億円 (R元～2年度)

③ 福祉用具による移動の変革 (自動運転による施設内の観覧)



福祉用具実用化開発事業
700万円 (H25年度)

② 福祉用具の多様な可能性 (農業・工場での活用) (災害現場での活用)



ロボット介護機器開発事業
2900万円 (H27年度)



ロボット介護機器開発事業
2600万円 (H27年度)

④ 新しい価値を提供する福祉用具 (網膜に映像を投影) (印刷物の音声化)



福祉用具実用化開発事業
1800万円 (H27年度)



福祉用具実用化開発事業
2800万円 (H29～30年度)

人生100年時代を健やかに生きるための技術の体験②

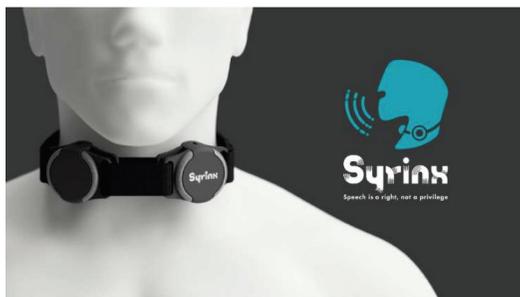
- 一般来場者がビジネスコンテストでプレゼンされる事業の審査に参画する機会を提供。
- ヘルスケア分野の社会課題解決につながる優良なアイデア・事業に触れ、実際に事業評価に加わることで最新技術をより身近に感じてもらうとともに、その普及に繋げる。

＜最新のヘルスケア関連技術・事業の体験、コンテスト参加＞ 優良なアイデア・事業の審査への参画 (ヘルスケアビジネスコンテストの開催)

過去のプレゼンの様子



失われた声を取り戻すデバイス「Syrinx」(過去のグランプリ事業)



過去のマッチングの様子



転倒時へこむ床「ころやわ」(過去のグランプリ事業)



ヘルスケアサービス社会実装事業
約2,800万円(令和3年度)

新しい移動体験の提供

- **空飛ぶクルマによる移動体験**を提供すると共に、会場輸送に貢献、万博を契機に空飛ぶクルマを活用した新たなサービスを実現。
- 経済産業省においても、国土交通省等と連携し、“空の移動革命に向けた官民協議会”のユースケース検討会にて大阪・関西万博での空飛ぶクルマの活用構想について具体的な議論を実施。

①空飛ぶクルマを活用した運航サービスの展開

〈例：特定のルートを特定の時刻に運航する定期便型サービス〉

- 空飛ぶクルマを活用した万博会場内での移動体験や、空港などの交通拠点のポートから万博会場への新たな移動を実現。
- 海上や河川等のルートを中心とした2～5人程度の少人数輸送により、快適・安全な空の移動体験を提供する。



②安全な運航を可能にする新たなサービスの提供

〈例：新たな運航サービス、ポート運営等〉

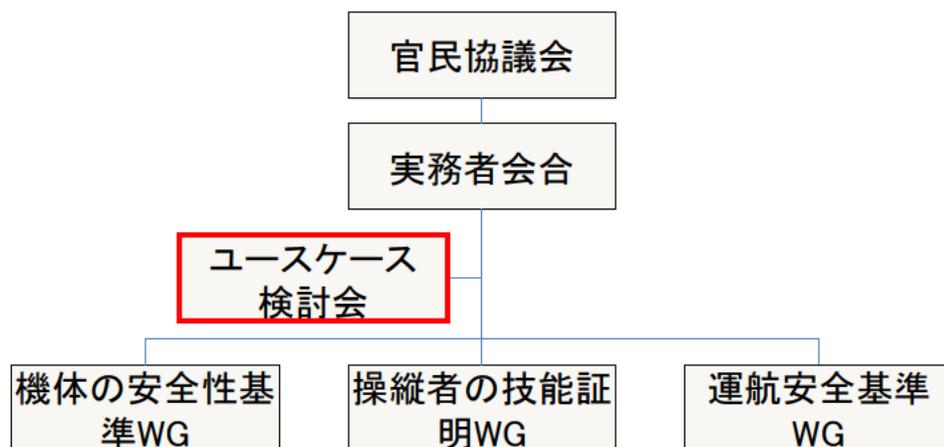
- 空飛ぶクルマを活用した運航サービスや離着陸のためのポート運営等、これまでにない新たなサービスを実現。

関連事業予算・取組

- ・ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト：40億円（令和3年度）
- ・空の移動革命に向けた官民協議会

③経済産業省の大阪・関西万博に向けた空飛ぶクルマの検討

- 官民協議会のもとに、ユースケース検討会を設置し、2020年度を通して、万博における空飛ぶクルマの活用構想を聴取し、ユースケース実現に向けた具体的な課題について官民で整理を実施。
- 引き続き、ポートの整備や運航ルールの設定等の具体的な論点について官民で議論を行い、万博における空飛ぶクルマの活用に向けた必要な課題への対応につなげていく。



自動配送ロボットのサービス提供

- 自動配送ロボットによる万博会場内におけるデリバリー等により、会場の利便性向上に加え、日常生活でのロボットの活躍をPR。
- 多機能化により、配送だけでなく清掃や警備など様々な用途に活用できる可能性。

現在



2025年（イメージ）



ZMP (日)



パナソニック (日)

関連事業予算

- ・自動走行ロボットを活用した新たな配送サービス実現に向けた技術開発事業 :3.0億円 (令和2年度補正)
- ・革新的ロボット研究開発等基盤構築事業 :6.6億円の内数 (令和3年度)

<配送以外の用途の例>

- ◆ 案内・サインエージ... 来場者への対応 等
- ◆ 警備... 会場内で巡回 等
- ◆ 荷物運搬の補助... 歩行者に追従し、荷物を運搬 等

大阪・関西万博協賛競輪



第 1 回

大阪・関西 万博 協賛

2025 年 6 月 10 日 - 13 日

2025

6/10(木) - 13(日)

競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。
期輪とオートレースの売上を、機械工業の振興や社会福祉等に投じています。

